

デザインと機能が融合する納まりを考え、  
空間を整える生産設計

## 協力会概要 OVER VIEW

名称 建築生産設計協力会(任意団体)  
設立 2024年(令和6年)7月8日  
会員数 正会員 17社  
特別賛助会員 1社  
賛助会員 9社  
(2026年4月時点)  
事務局 東京都新宿区西新宿7-22-37  
ストーク西新宿ビル307



建築生産設計協力会

[ホームページはこちら▶](#)

※会員企業随時受付中。ホームページからお問い合わせください。



# 建築生産設計協力会について

## 会長挨拶 MESSAGE

私たち建築生産設計協力会は、施工図業界の企業が集い、2024年7月に設立されました。ゼネコン企業の施工図作成代行から始まった業界の歴史はまだ半世紀、社会的な認知は充分とは言えません。さらに近年は分業化のニーズが高まる一方で、その技術者は減少しており、学生・教育機関への認知活動による人材確保や、技術者の育成が喫緊の課題となっています。当協会の設立により各社の連携を緊密にすることで、設計者・施工者との更なる協体制や、建築生産設計の資格化などを模索しながら、業界の活性化、認知拡大に取り組んでいきたいと考えております。

緻密な施工図の作成、デザインに則した適正な納まり、建物の品質・性能を確保する生産設計の業務は、とてもやりがいのある大きな仕事です。今後より多くの技術者が、日本の安全、安心な建物づくりに貢献できることを目指して、建築生産設計の発展に邁進してまいります。

建築生産設計協力会 会長 中村 務

## 役員 MEMBER

- 会長 中村 務 (株式会社佐沼建築システムデザイン)
- 副会長 坂本 博昭 (株式会社sai総合企画)
- 会計 木村 雄一 (アイテック株式会社)
- 運営 伊藤 直哉 (株式会社saiテクニカ)
- 広報 田原 和樹 (株式会社YOU建築事務所)
- 総務 村田 圭一 (株式会社池下設計)
- 監査 田中 通人 (株式会社西建設)

## 設立の目的

### 生産設計行為の認知度向上

施工図を作成する生産設計行為は建築事に必須の作業です。きつめて重要な分野を担う技術専門職でありながら社会的な周知は十分ではありません。当協会では生産設計行為の認知度向上を目指しています。

### 業界を担う人材獲得と育成

当協会では学生への積極的な啓蒙活動を通して認知度向上とともに、求職者の獲得に努めています。さらに人材の育成や技術力向上を目指した取り組みなど、業界の発展に貢献できる活動を推進しています。

## 協力会の主な活動

### 業界紹介誌への掲載

認知活動の一環として、雑誌や冊子に業界説明の掲載を積極的に行っています。「Architekon首都圏版39号」「建築学生のための就活GUIDE」「日刊建設工業新聞」等に仕事の内容、やりがい等を分かり易く掲載しています。

### 学校への説明会開催

建築系専門学校などで、建築生産設計の業界説明会を開催しています。生産設計の定義や作成図面の詳細な説明はもちろんのこと、2DCADやBIMといったツールの紹介、業界展望など、幅広い情報を提供します。説明会は、業界の未来を担う人材との出会いの場でもあります。開催のご依頼を心よりお待ちしております。

### 会員企業合同勉強会の開催

会社の垣根を超えて、合同勉強会を定期的に開催しています。学校施設、ゼネコンの研修施設や現場見学を行い、若手職員の知見を広げるお手伝いをしています。

### イベントへの協賛

「建築学祭」や「専門学校作品展示会」等に協賛をし、学生の活動を支援しています。



# 建築生産設計とは?

## 建物を組み立てる説明書を作ろう。

建築生産設計は施工図を作成する設計作業です。意匠図、構造図、設備図と、種類別に作成された建築設計図を統合し、ワンフロアごとに詳細な配置や寸法を確定した施工図を作成。建築作業の説明書となって工事をガイドし、完成へ導きます。

## 01/施工図の必要性と効果

### 施工図と設計図の違い

建築設計図は、建築主の要望を形にするための基本設計をもとに、「意匠図」「構造図」「設備図」の3種類に分かれ、工事契約の基になります。一方、施工図はこれらの情報を統合し、実際の施工に必要な詳細を示した図面です。「総合図」「仕上図」「躯体図」に加え、専門工務会社が作成する「製作図」も含まれます。



### 施工図の必要性と効果

施工図は各設計図をフロアごとに統合し、整合性を確認する役割を持ちます。設備の詳細を反映することで施工位置を確定し、品質・コスト・安全性の向上に貢献します。施工図は日本独自のもので、建築の完成度を高める重要な役割を果たしています。

## 02/生産設計業界の展望

### 課題解決のキーマンに

建築現場では工期短縮や大型化・複雑化、人手不足などの課題があります。施工図を必要とする専門工務業者は16業種に及び、施工図担当者の指示は品質やコストに大きく影響します。そのため、設計と施工を理解し施工図をまとめる「生産設計者」が求められています。将来的には「建築生産設計士」の資格制定・認定を目指しています。



### SDGs宣言

建築生産設計協力会は、SDGsの目標に対応する4つの宣言を掲げています。  
 ・生産設計者の拡大を目指そう！ ・高付加価値・技術向上を目指そう！  
 ・安全で使いやすい建物づくりに貢献！ ・パートナーシップを育もう！

## 03/生産設計の立ち位置

### 建築生産の関係性と役割

施工図は建築作業のガイドブック的な図面として現場に提供されるほか、意匠・納まりに問題ないことを最終確認するために設計・工事監理にも提供されます。



### 建築生産における図面の流れ

設計・監理と現場をつなぐ生産設計には、建築の知識に加え、情報を集約する力や関係各所への調整力が必要となります。生産設計は施工図で現場を支え、建築を完成に導く大きな役割を担っています。

